

令和8年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要
（「指定管理者制度導入の適否」に係る審査）

- 1 開催日時 令和8年5月11日（月） 10:00～10:25
- 2 開催場所 青森市役所 議会棟4階 第2委員会室
- 3 対象施設 青森市都市公園（1件15施設）
（合浦公園、野木和公園、野木中央公園、本町公園、戸山中央公園、戸山西公園、奥野中央公園、はまだて公園、浜田中央公園、八ツ役北公園、平和公園、駅前公園、新青森駅前公園、青森市スポーツ公園わくわく広場、大野中央公園）
- 4 出席者
 - (1) 選定評価委員 委員長 沢木正明（企画部次長）
副委員長 越後谷和人（総務部次長）
委員 池田享誉（青森公立大学准教授）
委員 松本博子（東北税理士会青森支部税理士）
委員 竹内巧（市民部次長兼行政情報センター所長）
委員 横山明典（経済部次長）
委員 坂本康人（農林水産部次長）
 - (2) 施設所管課（都市整備部公園河川課）
課長 嶋守亮 他、主幹級以下職員 2名
 - (3) 制度所管課（企画部行政資産経営課）
課長 小嶋康崇 他、主幹級以下職員 3名
- 5 案件 「指定管理者制度導入の適否」に係る審査
- 6 審査結果 全委員異議なく、全会一致で次のとおり了承された。
 - (1) 指定管理者制度導入の適否：適
 - (2) 指定期間：5年間
 - (3) 利用料金制：なし
 - (4) 募集形態：公募
 - (5) グループニングの適否：適（15施設一括管理）

7 主な質疑内容

委員：各公園の使い方の可否についてどのように対応しているのか。

施設所管課：指定管理者が見かけた際に判断しており、判断に迷う場合には市に相談があり対応している。

委員：使用料等の歳入が年 15 万円程度となっているが、一番多く使用料が徴収されているのは合浦公園の春まつりか。

施設所管課：合浦公園が一番多い。

委員：樹木の老朽化について、必要に応じて仕様書の見直しを行うとあるが具体的な対応についてどのような検討をしているのか。

施設所管課：公園等を巡回し老朽化した木をマーキングするほか、樹木の伐採に伴う処分費の計上等の対応を検討している。

委員：前回要望が出ていたわくわく広場の草刈りについて、どのような対応がなされてきたのか。

施設所管課：前回いただいた意見を基に、要望が来てからではなく、何月頃に草刈り等を実施するのが効果的なのか等を検討し対応している。

委員：トイレの老朽化等に関する要望はどこが多いのか。

施設所管課：使用頻度の高い合浦公園や駅前公園が多くなっている。

委員：熊についてはどのような対策がされているのか。

施設所管課：現時点で目撃情報は寄せらせていないが、今後、指定管理者と相談し、注意喚起の看板設置等について進めていく。

委員：各（奥野中央、はまだて公園）公園の親水設備の水の点検のルール等は定めているのか。

施設所管課：巡回・点検業務を行っており、月 1 回の水質検査も行っている。

委員：現在の都市公園は足りているか。今後も増える可能性はあるか。

今後の維持管理コストを踏まえ廃止の検討も必要かと思うが、どのような手続きが必要となるのか。

施設所管課：市の人口は減少しており、1 人当たりの面積としては十分足りていると認識している。今後、市として新たな都市公園の整備は考えていないが、開発行為に伴う緑地は増える可能性が考えられる。

今後の維持管理コストを考えると廃止も必要となるかもしれないが、公園は緊急避難場所や雪捨て場としても活用されているため、公園数を減ら

すのではなく、遊具の削減等により維持管理コストの削減の検討が必要と
考えている。

都市計画決定している都市公園を廃止する場合には、都市計画審議会に
諮る必要がある。